

平成21年度農用地等集団化優良地区等表彰式における受賞団体の概要

1 農林水産大臣賞

| | |
|---------|---------------|
| 名 称 | 豊田新利根土地改良区 |
| 地 区 名 | 塗戸地区 |
| 地区所在地 | 茨城県龍ヶ崎市 |
| 事 業 名 | 県営経営体育成基盤整備事業 |
| 事業実施期間 | 平成13年度～平成20年度 |
| 地区面積 | 71.1ha |
| 集 団 化 率 | 86.0% |

【当該地区における農用地等集団化の特徴及び成果】

- (1) 担い手への農用地の利用集積を積極的に図る農用地利用集積促進区域を設定し、地目別、集落別集団化により、86.0%という高い集団化率を達成している。
- (2) 換地と利用権設定とを一体的に推進し、農業生産法人1法人と担い手農家2戸へ地区内農地の61.4%の利用集積を図り、経営規模拡大等による農業経営の改善に寄与している。
- (3) 創設非農用地換地制度を活用し、計画的な土地利用秩序を形成している。

2 関東農政局長賞

| | |
|---------|---------------|
| 名 称 | 益子町土地改良区 |
| 地 区 名 | 七井西部Ⅰ期及びⅡ期地区 |
| 地区所在地 | 栃木県芳賀郡益子町 |
| 事 業 名 | 県営経営体育成基盤整備事業 |
| 事業実施期間 | 平成13年度～平成20年度 |
| 地 区 面 積 | 148.3ha |
| 集 団 化 率 | 82.5% |

【当該地区における農用地等集団化の特徴及び成果】

- (1) 集落別の集団化により集落の出入り作を解消し、担い手の農用地に隣接して貸し手農家の農用地を配置することにより利用権設定、作業受委託の促進を図っている。
- (2) 担い手農家5戸へ地区内農地の40.5%の利用集積を図り、農作業の省力化による農業経営の改善に寄与し、田の汎用化により麦、大豆などの作付けが行われ、今後計画的に拡大することとしている。
- (3) 創設非農用地制度を活用して、計画的な土地利用秩序の形成に寄与してゐる。